

2月定例会での一般質問要旨

新潟版 グリーンニューディール

1. 農業従事者の高齢化と「地域農業マスタープラン」の取り組みについて

2. 中学校の武道(柔道)の必修化と 安全指導体制について

3. 自転車走行の環境(道路)整備と交通安全教育について

1 日本農業の就業者の平均年齢は66.1歳、65歳以上の高齢者は60%を超えている。当市農業の高齢化率や新規就農者の現状と24年度政策に、各集落、地域で将来の担い手を明確化し農地集積や給付金の支援につなげる「農業マスタープラン」の取り組みを伺う

(市長)

市の農業従事者は3,659人この内65歳以上は2,269人と高齢化率は62%、また75歳以上が888人であり高齢者の労働力に支えられている。各地域で農業の未来の設計図を描いて頂けるよう周知していきたい。

2 今年4月から中学校の体育の授業で柔道が必修化になる。多くの保護者から事故への不安の声がある

安全対策や教師の指導力に課題はないか

(教育長)

各校では武道場の十分な確保とマット等で覆ったり教育環境を整えている。指導者自身は県の研修会へ参加をしてきている。教える技能や安全性を向上させ事故の起きないように努めている。

3 交通法では自転車は原則車道走行。1000人以上の中学生は自転車通学である。市の道路は安全に通行できる環境にあるか。

(市長)

通学路は事故防止のための点検、安全確保に努めている。全小中学校では年度始めに交通安全教室を実施している。

新潟県企業局は阿賀野市の東部産業団地に、県のグリーンニューディール政策として太陽光発電事業に取り組んだ。

(建設工事費4億900万円)

雪国におけるメガソーラー発電所として太陽電池パネルを4,822枚設置、最大出力1,000キロワット(一般家庭350軒分)を昨年10月31日から商用運転を開始した。福島第一原子力発電所事故を受け、再生可能エネルギー社会づくりを加速させるため、隣接地に同規模の太陽光発電設備の増設を計画。今年7月に運転開始予定。



3月7日視察に行ってきました



「TPP交渉参加反対を求める意見書」全議員が賛成

北越後農協より請願を受け、野田総理大臣はじめ農水大臣、外務大臣等に意見書の提出へ。本会場にて提案議員として意見書案を朗読。

平成24年度 新発田市一般会計予算案 に賛成討論

教育福祉政策、産業振興等に予算を重点配分、公明党市議団として賛成。